2013年11月11日

各　位

会　社　名　パンチ工業株式会社
住　　所　東京都港区港南二丁目12番23号
代表者名　代表取締役社長　武田　雅亮
（コード番号：6165）
問合わせ先　取締役執行役員コーポレート本部長　八木　裕之
TEL. 03-5460-8237

中期経営計画「バリュークリエーション１５」策定に関するお知らせ

当社は、今年度から2015年度までの３ヵ年を計画期間とする中期経営計画「バリュークリエーション１５」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

現在、企業を取巻く世界経済、社会環境は、あらゆる局面で大変早いスピードで変化しています。加えて、新興国を中心とした世界経済の構造変化は、これまで日本・中国を中心に事業展開してきた当社グループの企業活動にも少なからず影響を与えています。

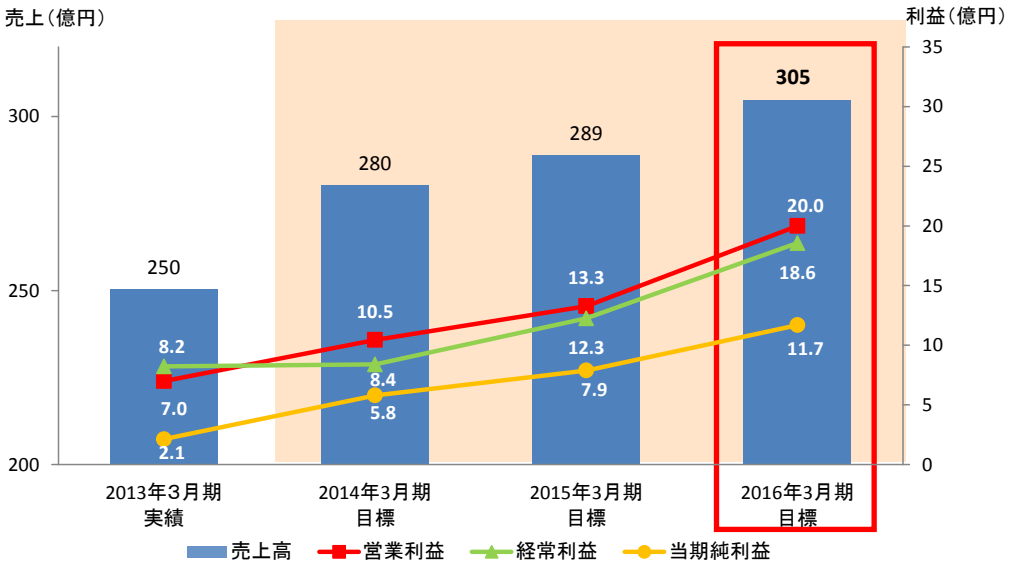
ものづくりの舞台が、日本から中国、そして新興国へシフトしつつあるなか、また、海外への技術流出も懸念されるなか、当社グループといたしましては、日本の製造業の強みであり、当社グループの強みでもあります「技術力」をベースに、付加価値の高い製品を全世界のお客様へ提供し続けていくことが重要な使命であると考えております。

このような経営環境の変化に迅速に対応し、日本のものづくりには徹底的にこだわりつつ、世界のパンチを目指し、グローバルに事業を展開していくため、当社グループでは、2016年３月期を最終年度とする３ヵ年の中期経営計画「バリュークリエーション１５」をスタートさせました。ここでは、当社グループの重点経営課題であります「グローバル化」「新市場の開拓」「高収益事業モデルへの転換」に「攻め（成長戦略）」と「守り（体制・体質改革）」で取組み、企業ビジョンである「金型部品業界でのトップブランドを確立し、製販一体企業としての優位性を活かした高収益事業を目指す」の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

注）バリュークリエーションとは、単体の収益体質改革計画の名称であり、この動きをグループ全体に展開していくという考えで、中期経営計画「バリュークリエーション１５」としております。

１．経営目標（連結業績）

2016年３月期　売上高　300億円以上、営業利益　20億円以上を目指す。



２．バリュークリエーション１５の基本戦略

①東南アジア・欧米市場での事業体制を確立し、日本、中国に次ぐ市場に育てる。

②マーケティング主導による未着手の新規事業・新市場の開拓。

③グループ研究開発体制の構築。

３．重点施策

①グローバル化

お客様密着型の営業体制を日本、中国のみならず、東南アジア、インド、欧米へも展開してまいります。

- グローバル事業本部（戦略機能）による、事業戦略の統括及び全方位支援。
- マレーシアをコアとし、シンガポール、ベトナム、インドネシア、インドにおいて事業基盤を確立。
- 欧米市場に自動車関連をコアとした特注品ビジネスを展開。

②新市場の開拓

高い技術力を活かし、新分野・新市場の開拓を推進してまいります。

- グローバル事業本部（マーケティング機能）による、新市場開拓の統括及び全方位支援。
- 中国・重慶を戦略拠点に中西部市場を攻略。
- 東南アジア・インド市場において、国内及び中国戦略を横展開できる基盤を構築。

③高収益事業モデルへの転換

一気通貫の生産体制と高い技術力を武器として、高付加価値製品の拡販を目指してまいります。

- 昨年からスタートしたバリュー・クリエーション計画で国内の収益体質改革を実現。
- グループ横断の研究開発体制を確立。特に中国においては、研究開発を強化し戦略製品ラインアップを拡充。
- 東南アジアでの超硬製品事業を拡大。

以　上

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料記載の将来に係る一切の記載内容は、当社が本資料作成日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により記載と異なる可能性があります。

2013-2015年度中期経営計画
「バリュークリエーション15」

2013年11月11日

パンチ工業株式会社

（証券コード：6165）

1．当社を取巻く環境①経営環境

欧州

足元の明るさも感じられ、時間は掛かるものの、回復基調への復帰に期待。

中国

日中問題等、懸念材料はあるものの、大規模経済の着実な成長に期待。

米国

財政問題など不透明感はあるものの、「強いアメリカ」の牽引力に期待。



東南アジア

着実な成長を続けており、特に、タイ、ベトナム、インドネシアに期待。

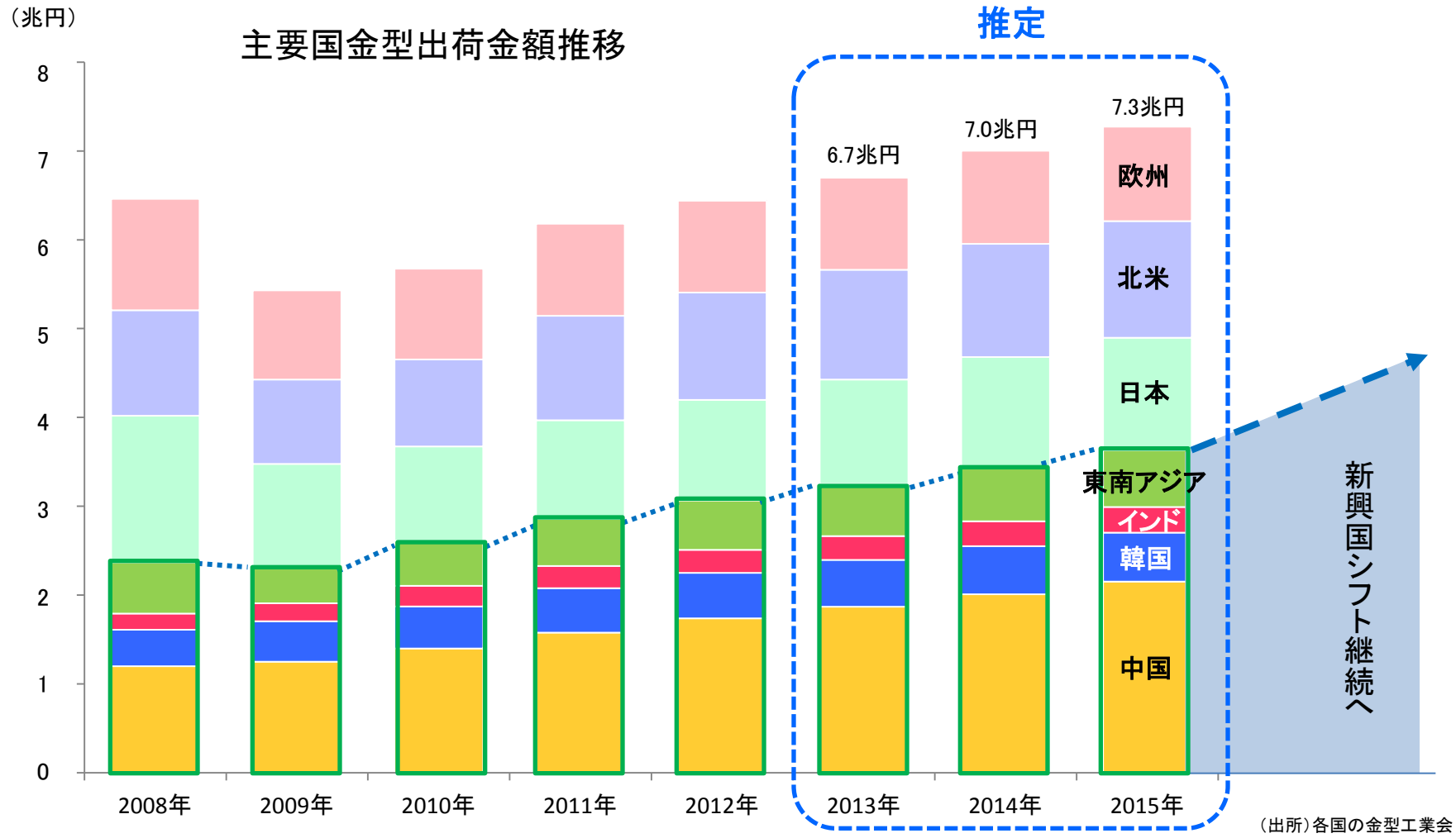
日本

円高、円安を乗り越え、アベノミクス、東京五輪等々もあり、「しっかり感」継続に期待。

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1．当社を取巻く環境②金型業界動向

リーマンショック直後をボトムに着実な回復基調



（出所）各国の金型工業会

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1．当社を取巻く環境③市場環境

	日本	中国	東南アジア他
自動車	’12年（生産実績） 994万台 ’15年（推定生産） 990万台	’12年（生産実績） 1,927万台 ’15年（推定生産） 2,257万台	’12年（生産実績） 5,493万台 ’15年（推定生産） 6,273万台
電子部品・半導体	車載及びポストスマホに期待		
家電・精密機器	テレビ復活・白物拡大に期待	個人消費活性化に期待	インド、インドネシア等の市場拡大に期待
その他	医療、食品等に注目	機械、航空関連に注目	インフラ関連に注目

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2. 現状認識①パンチグループの課題

1

グローバル化

インド、東南アジア、欧米市場の開拓

2

新市場の開拓

未開拓・新分野への取組み

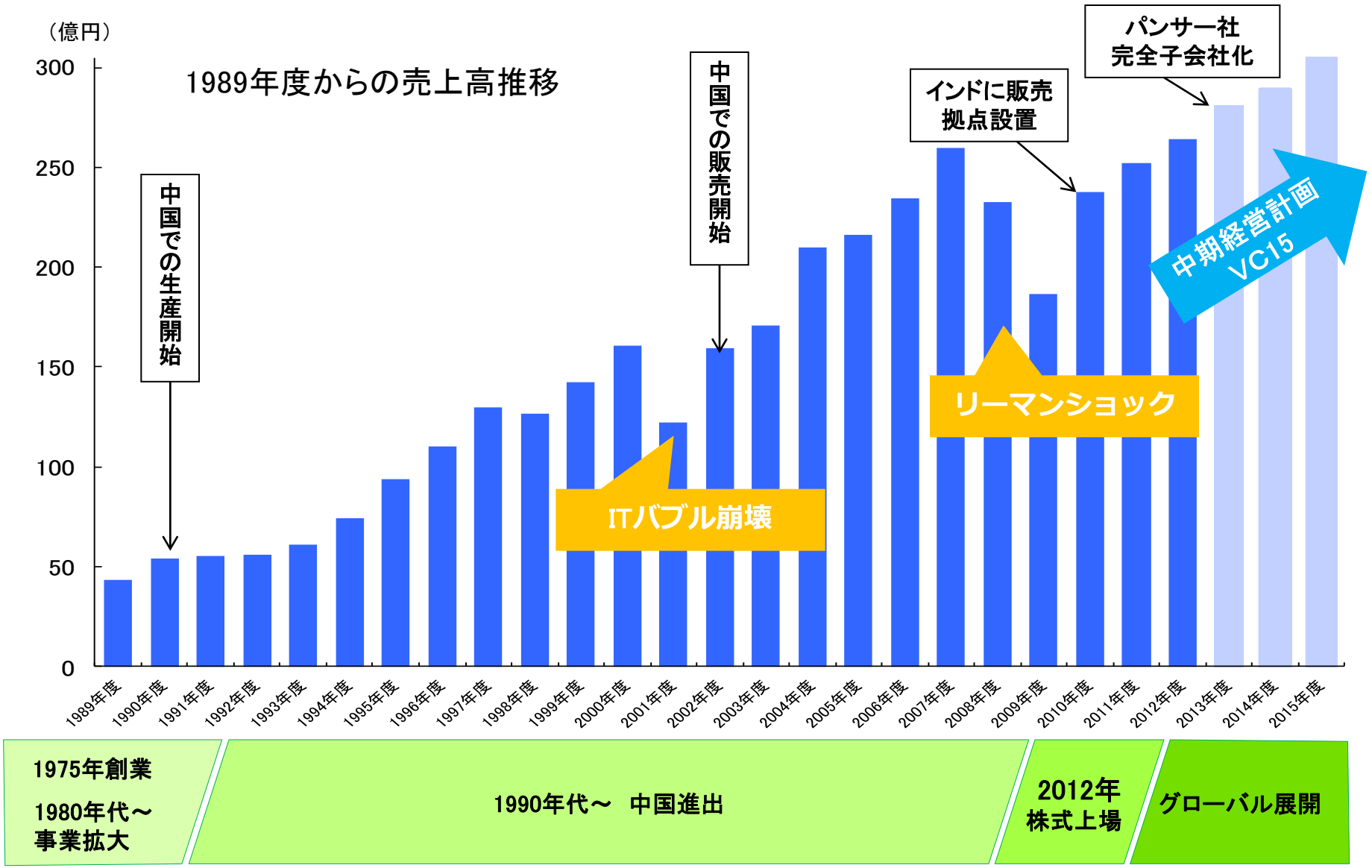
3

高収益事業モデルへの転換

国内・中国事業の収益力改革

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2. 現状認識②パンチグループのこれまで



All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2. 現状認識③パンチグループの強み

高い技術力

蓄積

創業以来のノウハウ
- 暗黙知→形式知
- 次世代への継承

×

投資

研究開発本部

国内体制の集約×中国体制の強化

一気通貫の生産体制

1,700台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

パンチグループ最大の強み

カタログ品 ＋ 特注品

2013-2015 中期経営計画

バリュークリエーション15

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3.「バリュークリエーション15」の基本戦略

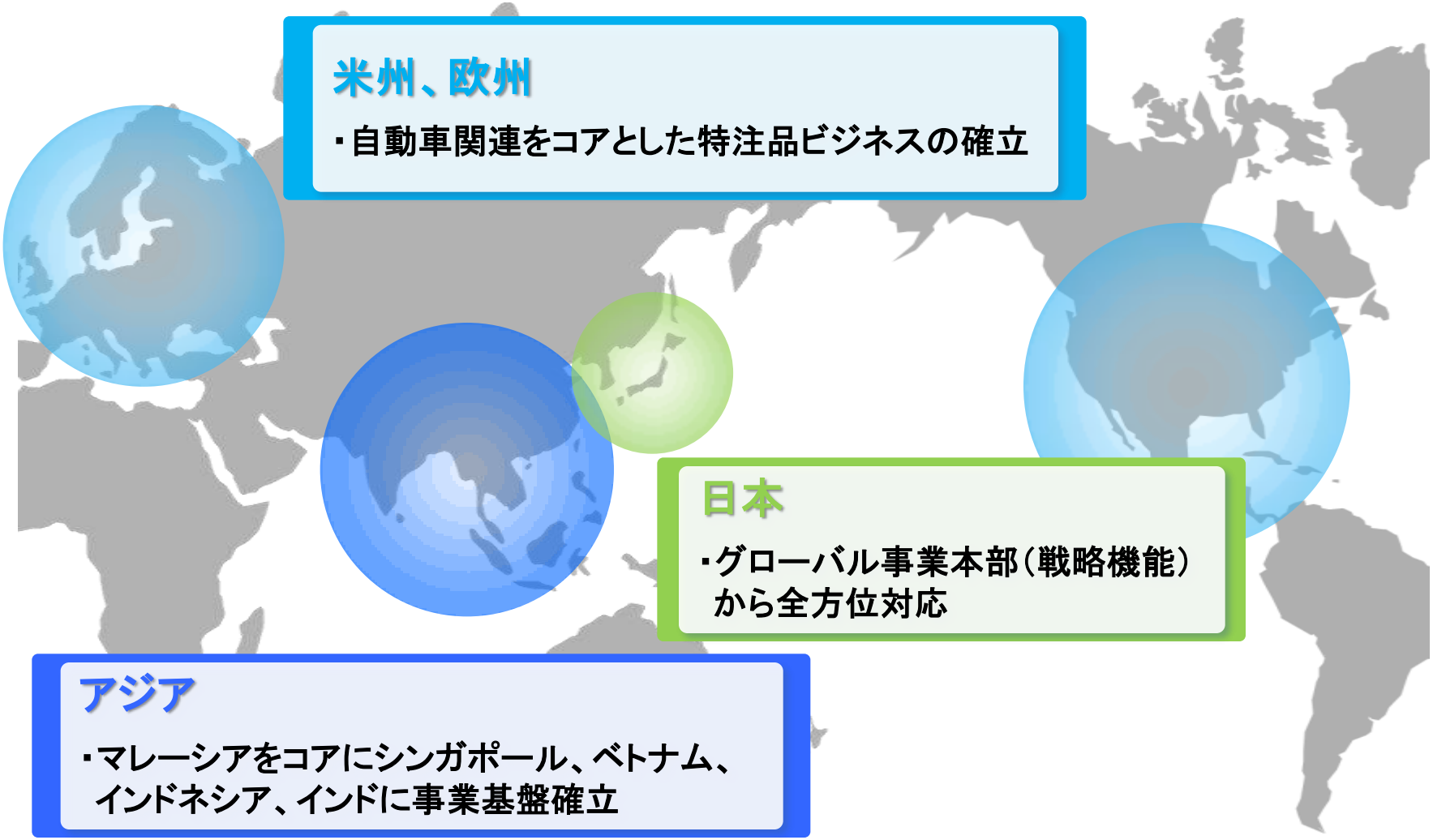
3つの「対処すべき課題」に「攻め（成長戦略）」と「守り（体制・体質改革）」で取組む！

	日本	中国	東南アジア他
グローバル化	■戦略本社　グローバル事業本部新設 ■ 米州戦略　■ 欧州戦略		
新市場の開拓	■ マーケティング ・医療関連 ・食品/飲料関連 ・金属光造形技術	■ 中西部市場攻略	■ 東南アジア新体制のフルスイング ・マレーシアを製販のコア拠点とした事業基盤確立 ・インドネシア合弁事業の早期立ち上げ ■ インド ・自動車の深耕と家電攻略
高収益事業への転換	■ R&D ・研究開発本部	■ 戦略製品拡販	■ 超硬事業拡大

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4. 重点施策①グローバル化

お客様密着型の営業体制



米州、欧州

・自動車関連をコアとした特注品ビジネスの確立

日本

・グローバル事業本部（戦略機能）から全方位対応

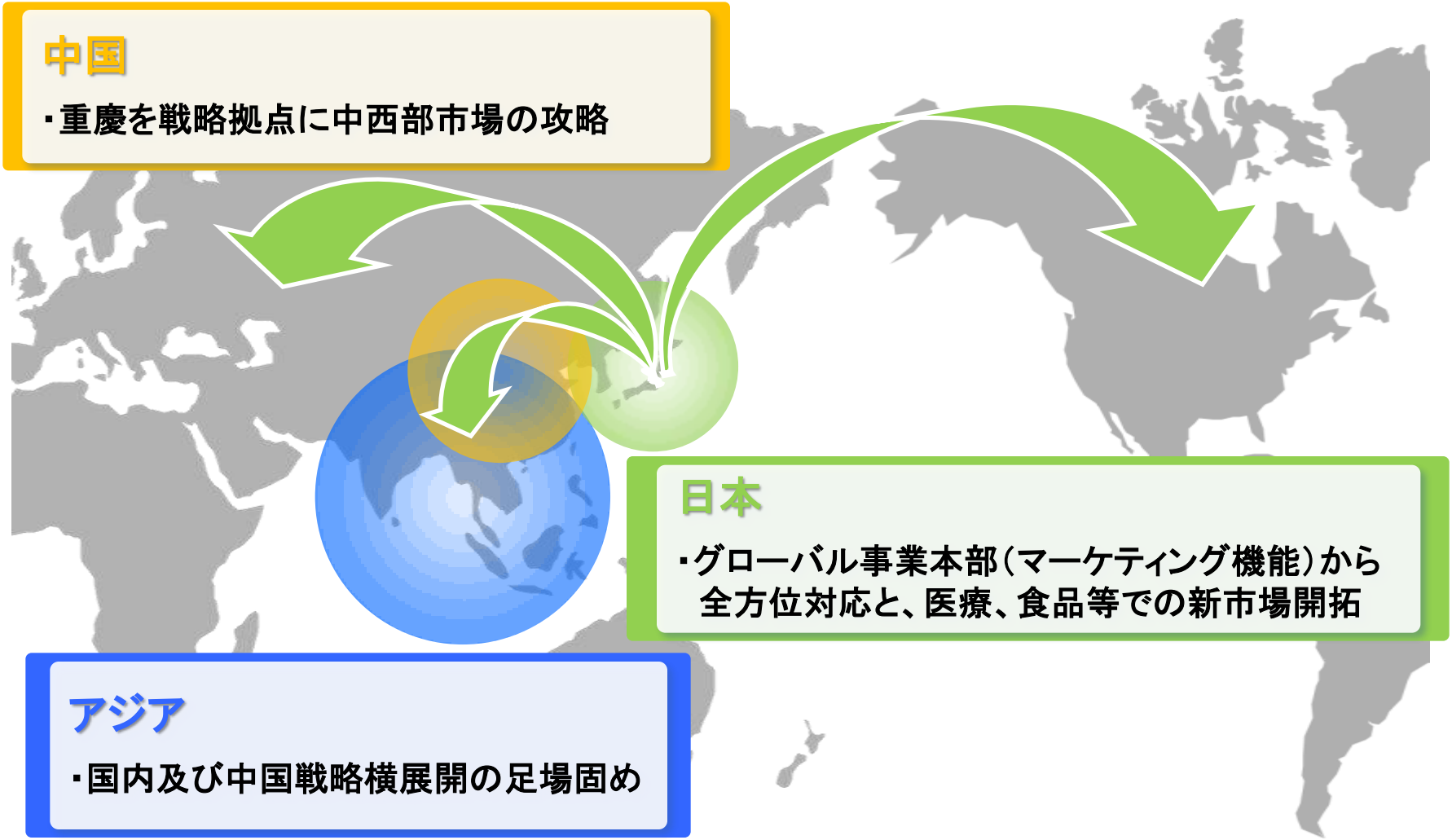
アジア

・マレーシアをコアにシンガポール、ベトナム、インドネシア、インドに事業基盤確立

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4. 重点施策②新市場の開拓

高い技術力を活かし新分野・新市場の開拓



中国

・重慶を戦略拠点に中西部市場の攻略

日本

・グローバル事業本部（マーケティング機能）から
全方位対応と、医療、食品等での新市場開拓

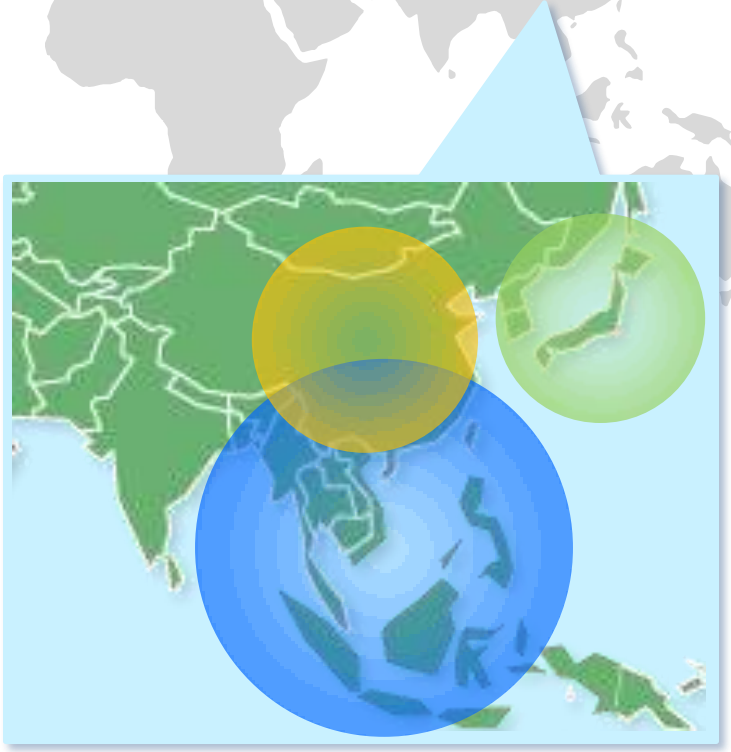
アジア

・国内及び中国戦略横展開の足場固め

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4. 重点施策③高収益事業モデルへの転換

一気通貫の生産体制と高い技術力による高付加価値製品の拡販



日本

・バリュー・クリエーション計画
→収益体質改革の完遂
・研究開発本部によるグループ横断のR＆D体制確立

中国

・戦略製品ラインアップの拡充

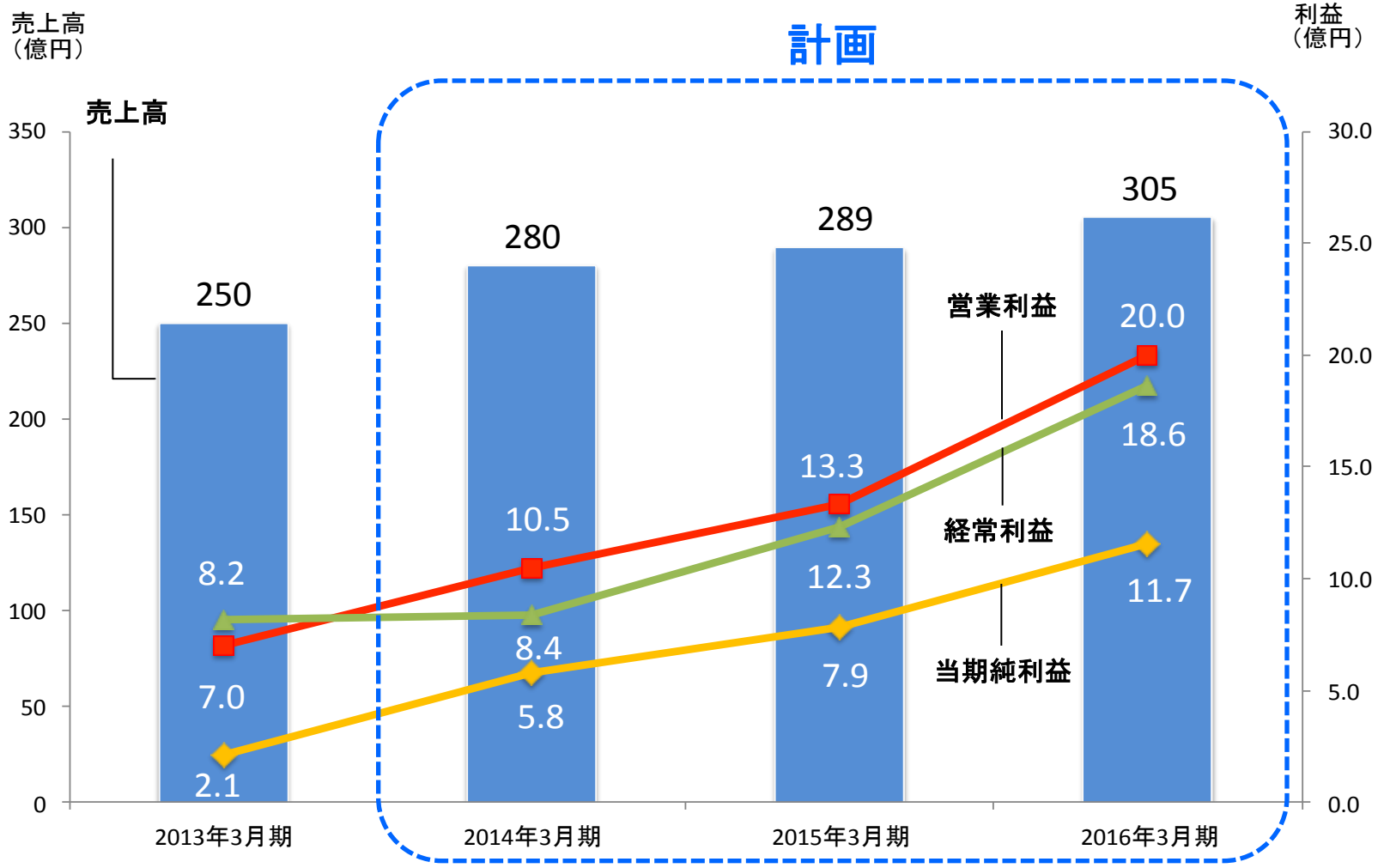
アジア

・超硬事業（守備と攻撃のレベルアップ）の拡大

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

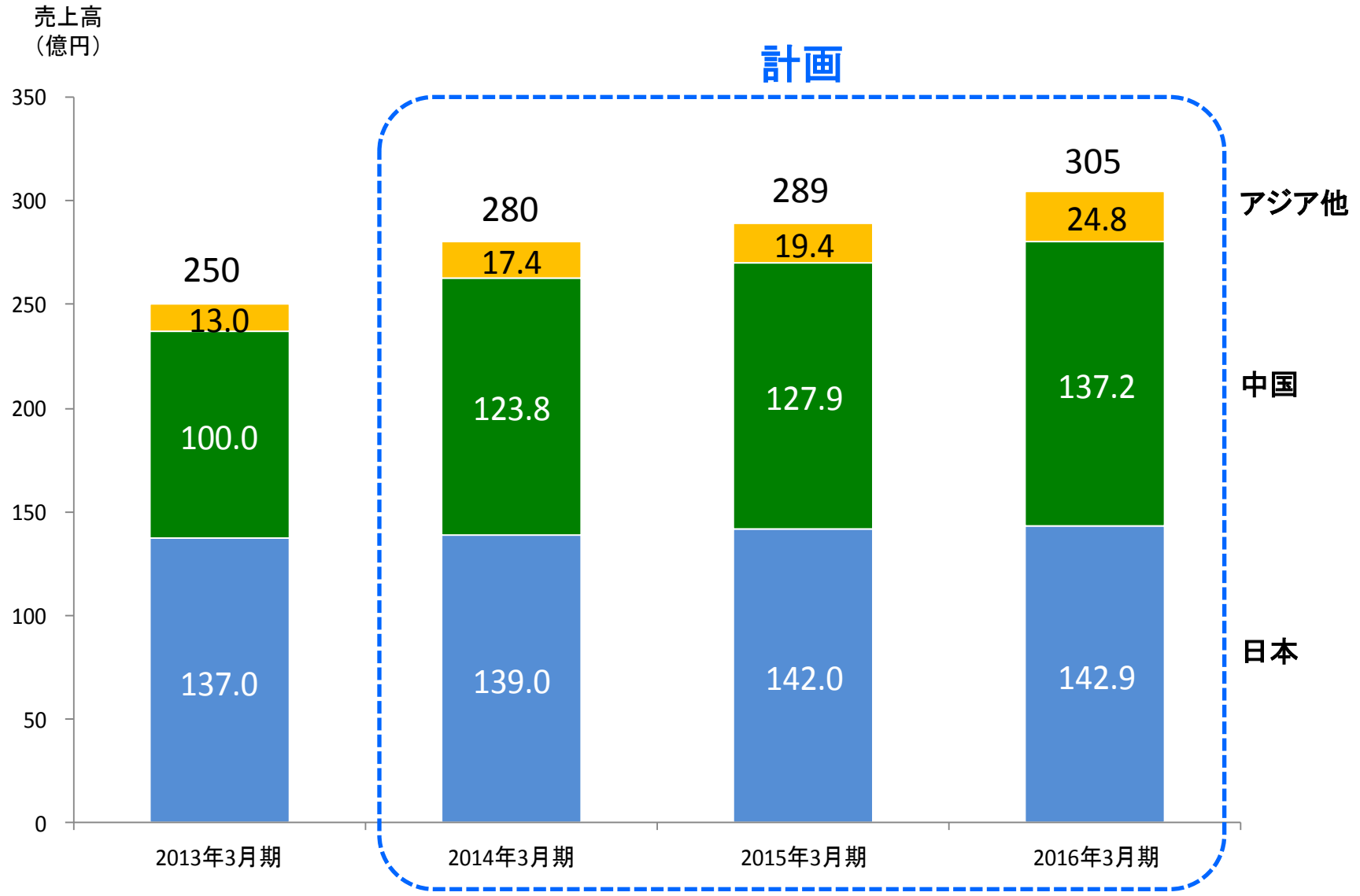
5. 経営目標①売上・利益

2016年3月期、売上高300億円以上、営業利益20億円以上を目指す！



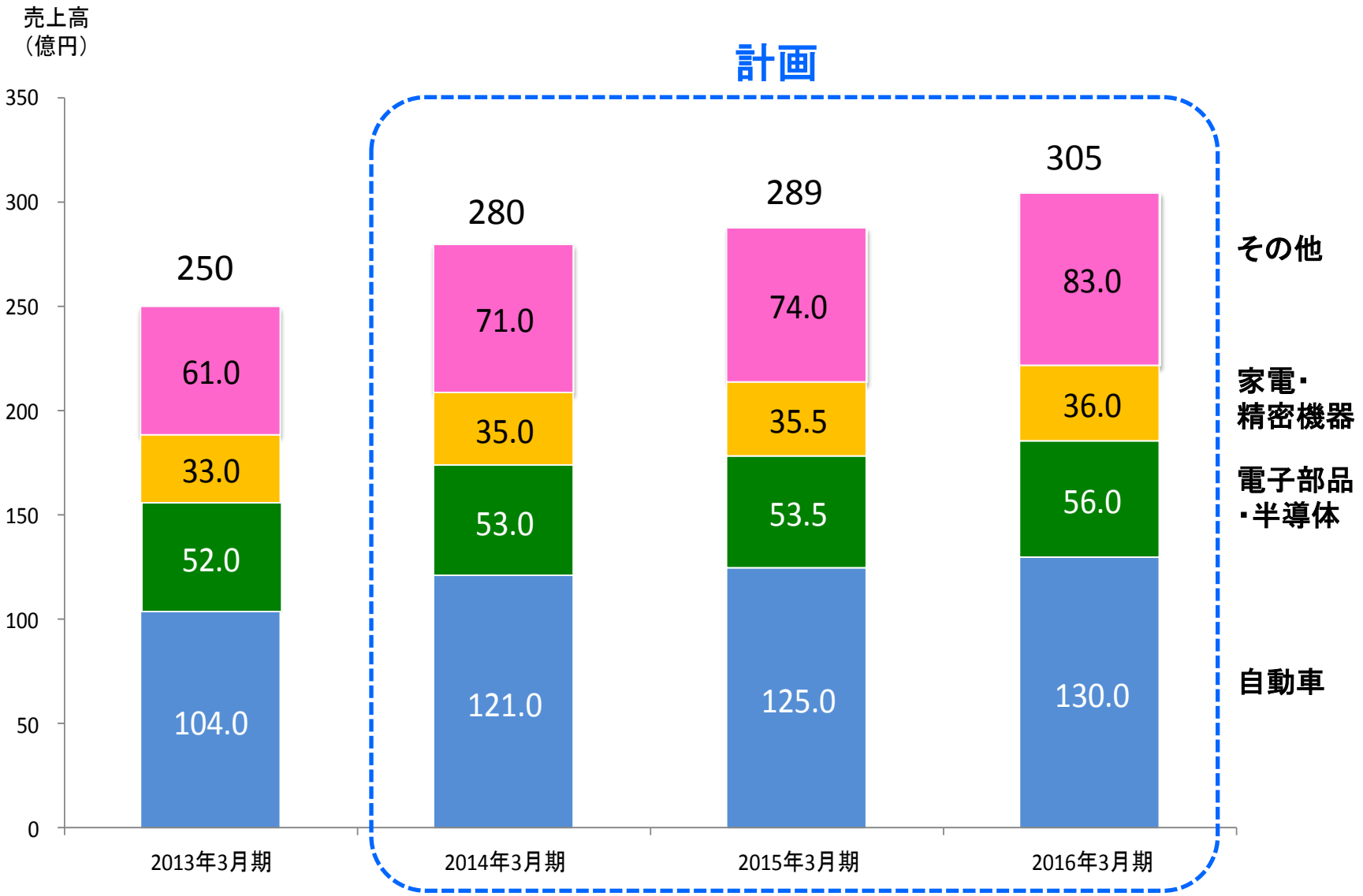
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5. 経営目標②地域別売上高



All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5. 経営目標③業種別売上高



All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5. 経営目標④財務指標

（単位：億円）

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
売上	280	289	305
営業利益	10	13	20
経常利益	8	12	19
当期純利益	6	8	12

総資産	238	242	254
総負債	169	166	168
うち有利子負債	101	94	83
フリーキャッシュフロー	▲3	10	13
自己資本利益率（ROE）	9.9%	12.3%	16.0%

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

参考資料

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年３月
資本金	6億7,420万円
従業員数	3,739名（グループ連結、2013年９月末現在）
生産拠点	北上工場（岩手県北上市） 宮古工場（岩手県宮古市） 兵庫工場（兵庫県加西市）
グループ会社	株式会社ピンテック（山形市） 盤起工業（大連）有限公司（中国） 盤起工業（瓦房店）有限公司（中国） 盤起工業（無錫）有限公司（中国） 盤起工業（東莞）有限公司（中国） 盤起弾簧（大連）有限公司（中国） PUNCH INDUSTRY INDIA PRIVATE LTD.（インド） PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD.（マレーシア・ペナン） PANTHER PRECISION TOOLS（KL）SDN. BHD.（マレーシア・クアラルンプール）※ PANTHER PRECISION TOOLS PTE. LTD.（シンガポール） PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.（ベトナム） PT PUNCH INDUSTRY INDONESIA（インドネシア）

※PANTHER PRECISION TOOLS（KL）SDN. BHD. は、PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. に事業を移管したため、清算予定であります。

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

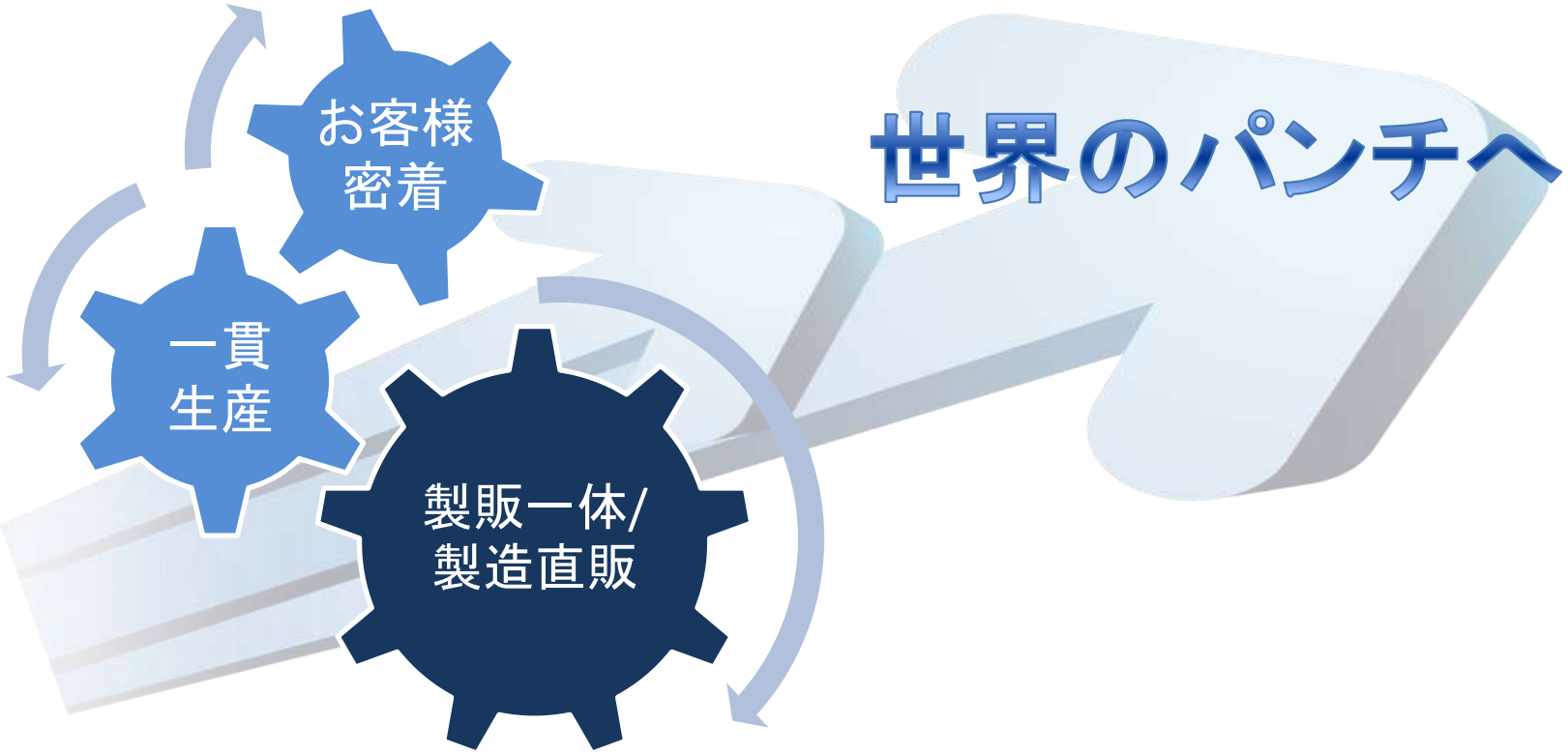
沿革

1975年	創業、プリント基板用穴あけピン製造
1982年	プラスチック金型用部品に進出（ハイスエジェクタピンの量産化に成功）
1983年	金型用部品の全国販売を開始 北上工場設置
1989年	宮古パンチ工業（現　宮古工場）設立 プレス金型用部品に進出
1990年	中国大連に製造拠点設立
2001年	中国に販売拠点設置
2002年	中国国内での金型用部品販売を開始
2010年	インドに販売拠点設立
2011年	兵庫工場設置 インド国内での金型用部品販売を開始
2012年	パンサー社（マレーシア）と資本業務提携 株式上場
2013年	中国重慶に生産物流拠点設置 パンサー社（マレーシア）を完全子会社化 インドネシア合弁会社設立

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

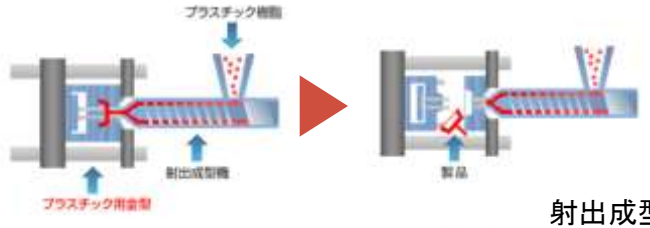
企業ビジョン

金型部品業界でのトップブランドを確立し
製販一体企業としての優位性を活かした
高収益企業を目指す



All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

プラスチック金型と金型用部品



プラスチック金型



射出成型機

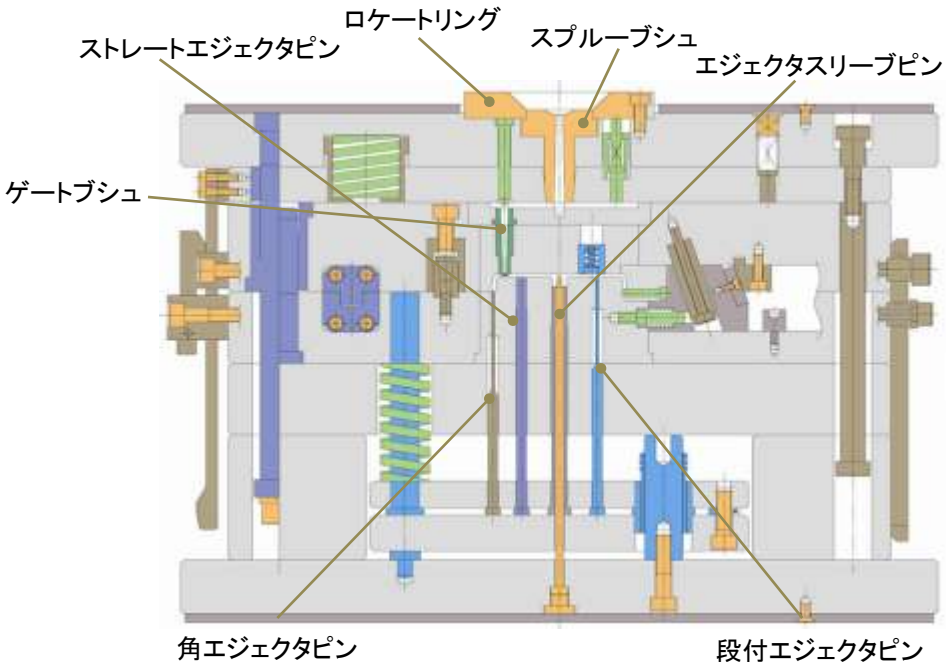




スプルーブシュ・ロケートリング



エジェクタピン



●プラスチック金型用部品について

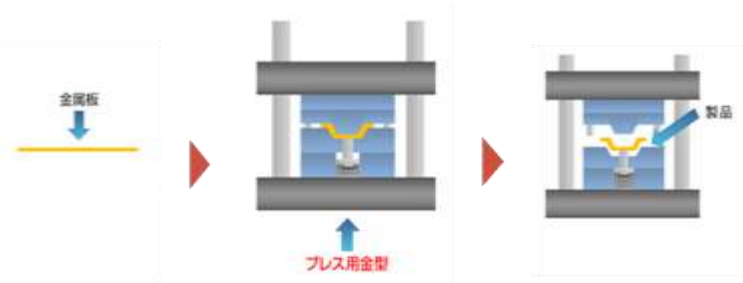
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ、ゲートブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン……成型品を金型から離し、突き出すための部品
スプルーブシュ……射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品
ゲートブシュ……スプルーブシュから金型内の製品部にプラスチックを流す部分であり、成型後、金型を開く時にこの部分から製品部を切り離すための部品

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

プレス金型と金型用部品





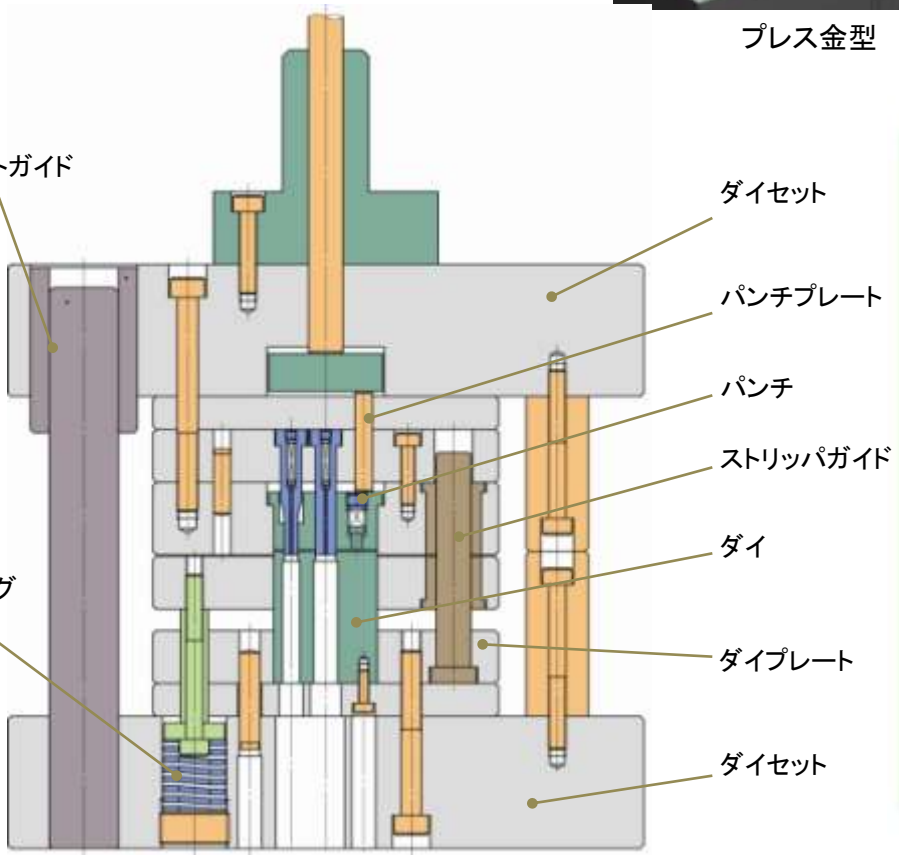
プレス金型



パンチ



ストリッパガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料（金属の鋼板）を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

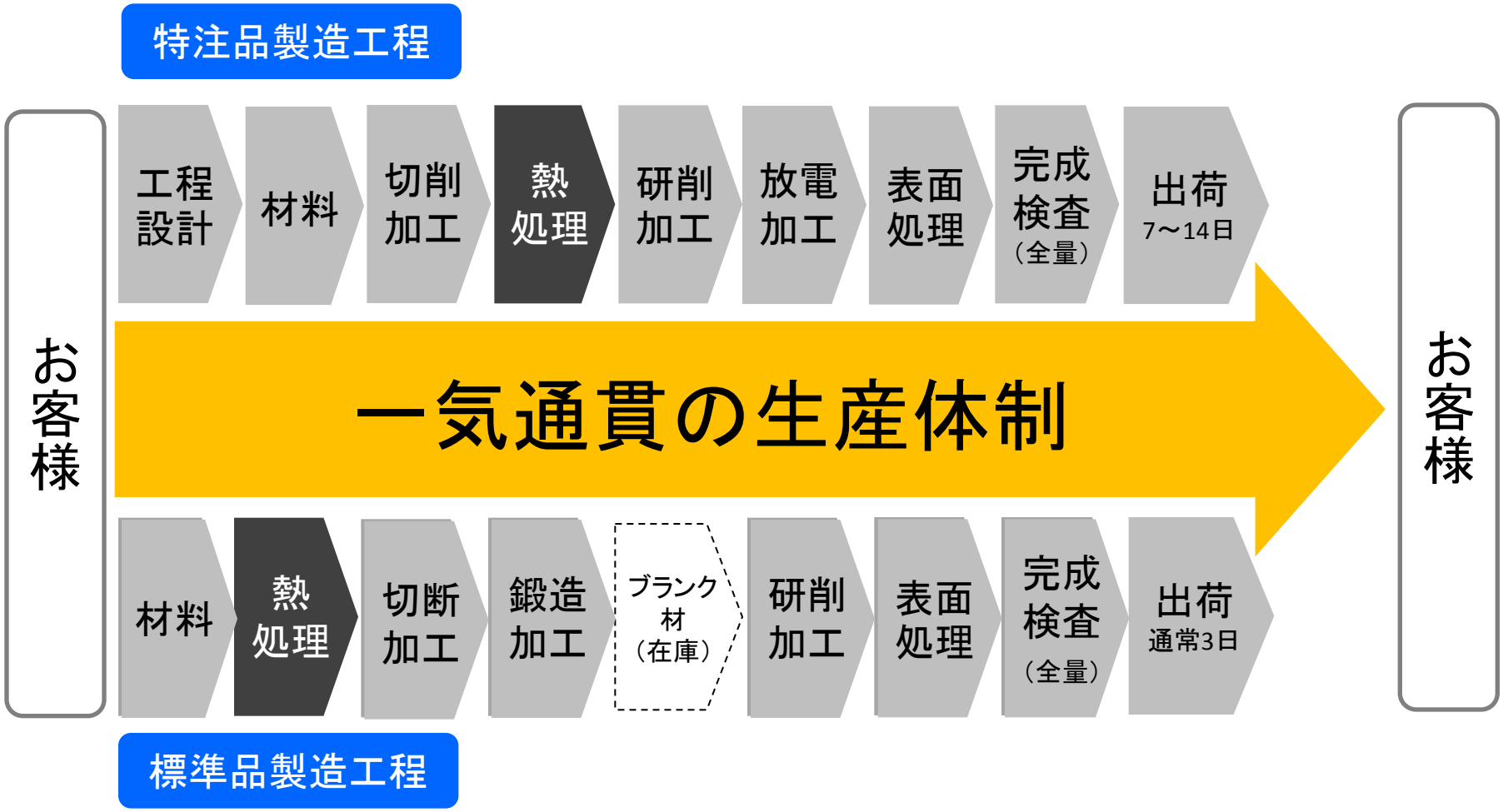
当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ	パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
ダイセットガイド	上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品
ストリッパガイド	パンチ・ダイの関係をダイセットのガイドを用いて位置合わせをして、適正なクリアランスを保つために使用する部品

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

事業内容

工程設計、材料調達から出荷まで一貫した生産体制が強み



All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

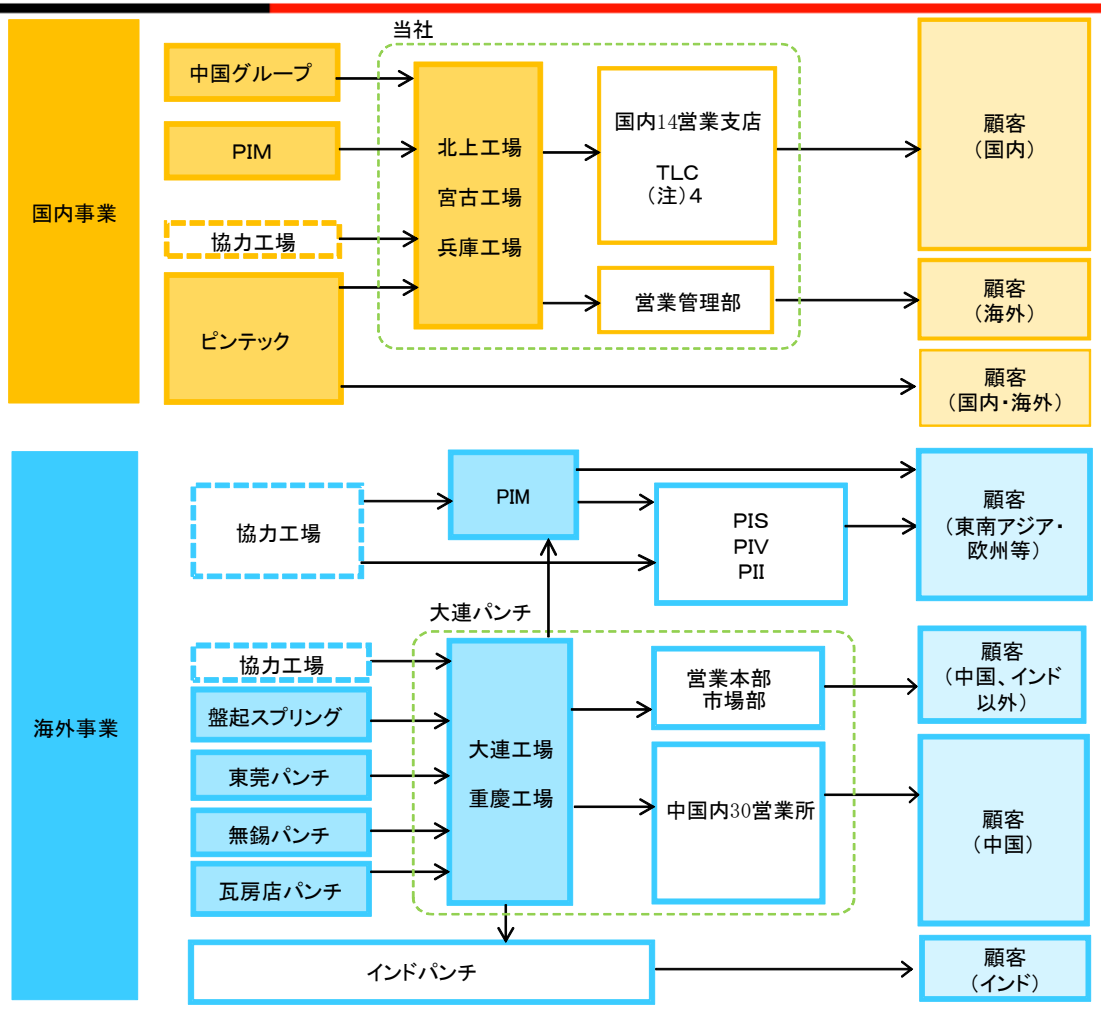
当社及びグループ各社の機能と役割

	会社名	略称	機能と役割
国内事業	パンチ工業株式会社（当社）	—	グループ統括機能。 国内3工場、ピンテック、中国グループ各社、パンサーで製造した製品と、協力工場で製造した製品等を、主として国内へ販売。
	株式会社ピンテック	ピンテック	主として当社向けの製品を製造、販売する一方、ピンテック独自のプリント基板金型用精密部品を製造し、国内外へ販売。
海外事業	盤起工業（大連）有限公司	大連パンチ	中国グループ統括機能。 傘下4社からの仕入れも含め、製造した製品、半製品、及び協力工場にて製造した製品等を、主として中国国内及び当社に販売。
	盤起工業（瓦房店）有限公司	瓦房店パンチ	主として大連パンチ及び当社向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業（無錫）有限公司	無錫パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業（東莞）有限公司	東莞パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起弾簧（大連）有限公司	盤起スプリング	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	PUNCH INDUSTRY INDIA PRIVATE LTD.	インドパンチ	主として大連パンチ製品等をインド国内へ販売。
	PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD.	PIM	東南アジアグループ統括機能。 自社及び中国グループで製造した製品と協力工場で製造した製品を、主として当社、欧州、東南アジアへ販売。
	PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.	PIK	PIMに事業を移管したため、清算予定。
	PANTHER PRECISION TOOLS PTE. LTD.	PIS	PIMで製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてシンガポール国内へ販売。
	PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.	PIV	PIMで製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてベトナム国内へ販売。
	PT PUNCH INDUSTRY INDONESIA	PII	2014年1月より事業開始予定。

（注）　1.国内事業とは、当社及びピンテックの事業を、海外事業とは、大連パンチ以下10社の事業を意味しております。
2.中国グループとは、大連パンチ及び傘下4社（瓦房店パンチ、無錫パンチ、東莞パンチ、盤起スプリング）の総称であります。
3.東南アジアグループとは、PIM及び傘下4社（ PIK、 PIS、PIV、PII）の総称であります。

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

事業系統図



（注） 1. は当社グループの社内生産部門を示しております。

2. は当社グループの社外生産部門を示しております。

3. は製品等の流れを示しております。

4. TLCは当社国内物流センターである東京ロジスティクスセンターの略称であります。

5. PIKは PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. （PIM）に事業を移管したため、清算予定であります。

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社　総務部コーポレート課
電話：03-5460-8237　　e-mail：info-corp@punch.co.jp

PUNCH INDUSTRY

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。